

鹿児島県立短期大学 平成19年度 ミニ講義メニュー

文学科

授業時間	学期	学科 /No	講 義	専 攻	担当教員
随 時	通年	文1	天草版エソボ物語に見る中世日本語	日本語日本文学	望月 正道
		文2	『捷解新語』に見る中世日本語		
		文3	伊勢物語と絵	日本語日本文学	木戸 裕子
		文4	明治時代の文学	日本語日本文学	橋口 晋作
		文5	大学で学ぶとはどういうことか		
		文6	英語の中の敬意表現	英語英文学	松山 哲也
		文7	英語の感覚と日本語の感覚		
		文8	世界の中の鹿児島弁:アクセントを中心に		
		文9	「英語」を第2言語として獲得可能か?	英語英文学	久木田美枝子

生活科学科

授業時間	学期	学科 /No	講 義	専 攻	担当教員
随 時	通年	生1	色と配色の基礎	生活科学	坂上ちえ子
		生2	危ない!食生活	食物栄養	倉元 綾子
		生3	生活格差:わたしたちの生活の未来を考える		
		生4	日本女性の現在:世界的視点から分析する		
		生5	生活の科学(家政学)の過去・現在・未来		
		生6	健康情報番組のウソ・ホント	食物栄養	多田 司
		生7	豊かな食生活をおくるために	食物栄養	町田 和恵
		生8	「食」のスペシャリストになろう	食物栄養	木下 朋美
		生9	食品の香りや色を作り出す酵素の働き		
		生10	大学で学ぶとはどういうことか		

商経学科

授業時間	学期	学科 /No	講 義	専 攻	担当教員
随 時	通年	商1	「_____の核心は何か？」	経 済	金谷 義弘
		商2	社会科学系から見た「大学で何を学ぶか？」		
		商3	ベトナム戦争とその後	経 済	福田 忠弘
		商4	平和学入門		
		商5	グローバルな市民社会の構築にむけて		
		商6	ODA改革	経 済	船津 潤
		商7	社会の中の情報システム	経営情報	栢木 紀哉
		商8	コンピュータの光と影		
		商9	最適化問題への招待		
		商10	アジアは今	第二部	野村 俊郎
		商11	法学入門	第二部	山本 敬生

鹿児島県立短期大学 平成19年度 出張講義メニュー

文学科

授業時間	学期	学科 /No	講 義	専 攻	担当教員
随 時	通年	文1	外国資料に見る中世日本語	日本語日本文学	望月 正道
		文2	伊勢物語と絵	日本語日本文学	木戸 裕子
		文3	源氏物語と親と子		
		文4	鹿児島の古典文学	日本語日本文学	橋口 晋作
		文5	シェイクスピアの作品と黒澤映画	英語英文学	轟 義昭
		文6	辞典に収録された日本語起源の英単語		
		文7	『カンタベリー物語』のプロローグについて		
		文8	英語の中の敬意表現	英語英文学	松山 哲也
		文9	英語の感覚と日本語の感覚		
		文11	世界の中の鹿児島弁:アクセントを中心に		
		文12	大学で学ぶとはどういうことか		

生活科学科

授業時間	学期	学科 /No	講 義	専 攻	担当教員
随 時	通年	生1	色とカラーコーディネーションの基礎	生活科学	坂上ちえ子
		生2	自分の健康は自分で守る	食物栄養	町田 和恵
		生3	危ない！食生活		
		生4	生活格差:わたしたちの生活の未来を考える	食物栄養	倉元 綾子
		生5	日本女性の現在:世界的視点から分析する		
		生6	生活の科学(家政学)の過去・現在・未来		
		生7	これからの健康長寿を目指して	食物栄養	多田 司
		生8	「食」のスペシャリストになろう	食物栄養	木下 朋美
		生9	食品の香りや色を作り出す酵素の働き		
		生10	大学で学ぶとはどういうことか		

商経学科

授業時間	学期	学科 /No	講 義	専 攻	担当教員
随 時	通年	商1	「 の核心は何か？」	経 済	金谷 義弘
		商2	社会科学系から見た「大学で何を学ぶか？」		
		商3	ベトナム戦争とその後	経 済	福田 忠弘
		商4	平和学入門		
		商5	グローバルな市民社会の構築にむけて		
		商6	ODA改革	経 済	船津 潤
		商7	社会の中の情報システム	経営情報	栢木 紀哉
		商8	コンピュータの光と影		
		商9	最適化問題への招待		
		商10	アジアは今	第二部	野村 俊郎
		商11	法学入門	第二部	山本 敬生